コミュニティ・スクール太宰府市立太宰府東中学校

東の風

令和６年 12 月２日（月）第 10 号 文責：校長 髙良 悦子

研修委員会講演会から

金子誠司さんのスライドの一部

11 月 13 日（水）に本校体育館で「研修委員会講演会」として、全校生徒と保護者を対象に、株式会社 will の総括マネージャー 金子 誠司さんにご講話いただきました。

金子さんは、茨城県水戸市、佐賀県佐賀市、福岡県久留米市にある就労移行支援事業所と、福岡県大野城市にある放課後等デイサービスの統括管理業務をされている方です。

講話として、「みなさんの人生にとって優先すべきモノの見つけ方 ～楽しみが生活の軸となる～」「シンプルに考える（将来的に必要なチカラを）」という内容で、途中実演（実験）も交えながら、とてもわかりやすく話していただきました。その講話の中から一部を紹介させていただきます。

- ○ ビンは人生、ピンポン玉はあなたにとって大切なもの、ビー玉は生きていく上で必要なもの、砂はあなたにとって小さなこととした時、ビンを砂で先にいっぱいにすると、ピンポン玉やビー玉は入らなくなる。人生も同じ。
- ○ まず、「どういう生き方や人生にしたいのか」ここに焦点をあてて目標を立てよう。そして「楽しみや時間の過ごし方」その次にあるのが「仕事」。この順番は忘れないでほしい。
- ○ 人生は振り子のようなもので、良いときもあれば、良くないときもある。失敗する経験も必要で、超えられない山を登らなくてもよいとの気づきが生まれることもある。
- ○ 今は「ググ」れば簡単に答えが見つかる時代。でもそれが本当の答えなのかはわからない。自分にとって合う答えなのかをわかるには「経験」が必要。
- ○ 社会人として大切だと思うこと、それはまず「人間性（人としての魅力度）」、そして「関係性（どれだけ関係性を築くことができるか）」、最後に「専門性」で、人との関わりの中で「人間性」が養われる。
- ○ 働くって大変。でもストレスは成長をするきっかけにもなる。ただ、大きなストレスは良いものではなく、それに対処するチカラが必要。その時に楽しみがあると大きな支えとなる。「楽しみは生活の軸となる」
- ○ これからの自分の人生、必ず大変なことや辛い場面は来る。だから準備しておくことが大切。私も小さな夢はかなえてきたが、その何倍も苦しむや挫折はあった。でもやってこられたのは、自分が優先すべきものに向かっていたから。自分自身が選択して決める人生になっていく。

３年生芸術鑑賞会（福岡県芸術文化祭 2024「学校等芸術家派遣事業」）

プロと生徒の合奏を聴く様子

11 月 28 日（木）に、「福岡ホルンアンサンブル」から６名のゲストをお招きして、３年生芸術鑑賞会を本校体育館で行いました。フレンチホルンをはじめ、ポストホルン、ナチュラルホルン、アルプホルンなど珍しい種類のルーツを知り、楽器を触ったり音を聴いたりして、貴重な時間を過ごすことができました。また、本校吹奏楽部の生徒とのセッション演奏やアルプホルン体験、生徒参加の「Bling-Bang-Bang-Born」などもあり、音楽の楽しさや素晴らしさを実感していました。

最後には、来ていただいたプロの皆様に感謝の気持ちを込めて、合唱曲「ひらり、」を歌いました。鑑賞会終了後に演奏者の方々から、「いろいろな学校に行きましたが、『音楽』に対して、『音楽』で返してもらえたのは初めてでした。本当に素敵な生徒さんたちですね。感動して涙が出ました。」と言われ、私も嬉しくなりました。３年生は受験生としての「心の力み」が抜け、気持ちをリセットできる時間になったのではないかと思います。